

2022年4月11日発行

東海生研 ～メールマガジン 第208号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

総会および第1回セミナー (予告)

開催日時: 2022年6月16日 (木)

総会 14:30～15:30

第1回セミナー 15:45～16:45

開催場所および開催方法: 「ウイックあいち」 会場およびZoom Webinar による
オンライン開催の併用型

講演内容:

演題 「知財・地理的表示等の利用による農林水産物のブランド化 (仮題)」

講師 日本弁理士会(東海会)知的財産支援委員会委員長

弁理士 丸山 修 氏

2. 東海地域内でのセミナー・シンポ・会議等

3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

☆IPCC報告書連携シンポジウム 「変動の影響はどうなる?どう対応する?～IPCC第
6次評価報告書と日本の研究報告～」 (4月26日)

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/naro/151865.html

4. 2022年度の競争的研究資金について

☆研究成果最適展開支援プログラム 産学共同 (育成型) (JST)

https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/2022_ikusei.html

☆研究成果最適展開支援プログラム 産学共同 (本格型) (JST)

https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/2022_honkaku.html

☆研究成果最適展開支援プログラム トライアウト (JST)

https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/2022_tryout.html

☆研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START)

プロジェクト推進型 起業実証支援 (JST)

<https://www.jst.go.jp/start/entre-demo/call2022.html>

☆研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START)

プロジェクト推進型ビジネスモデル検証支援 (JST)

<https://www.jst.go.jp/start/biz-model/call2022.html>

☆成長型中小企業等研究開発支援事業 (経済産業省)

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2022/220225mono.html>

☆民間の競争的研究資金（東海生研ホームページのNEWS 参照）

<http://www.biotech-tokai.jp/>

.....

編集後記

4月に入り、春の日差しの中で桜が満開となり、癒やしのひとときとなっています。

新年度になり、東海生研の中核型コーディネーターとして、前豊橋技術科学大学教授の岩佐精二さんが着任しました。産学連携の経験豊富な方なので、今後の東海生研の活動の幅が一層広がるものと期待しています。

毎月配信していますメルマガについては、新年度から簡素化しました。引き続き、イベント情報等を中心に最新情報を提供していく予定です。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・岩佐・中山・道村

TEL&FAX：052－789－4586

E-mail：bio-npo2*y4.dion.ne.jp （*を@に書き換えてください）

URL：<http://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研の過去のメルマガのご案内：<http://www.biotech-tokai.jp/archives/1151>

2022年5月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第209号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

総会および第1回セミナー

開催日時：2022年6月16日（木）

総会 14:30～15:30

第1回セミナー 15:40～16:40

開催場所および開催方法：「ウイנקあいち」

会場およびZoom Webinarによるオンライン開催の併用型

講演内容：

演題 「知財・地理的表示等の利用による農林水産物のブランド化」

講師 日本弁理士会（東海会） 知的財産支援委員会委員長

弁理士 丸山 修 氏

なお、参加申込み等の詳細は、今後、当研究会のホームページに掲載していきますので、適宜ご確認下さい。

2. 東海地域内でのセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示「米粉を使った食品を紹介します！」（～5月18日）

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heya/tokubetsu/20220427.html>

3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等（オンライン参加が可能なものに限定）

☆第5回東京大学農学部オンライン公開セミナー

「食品ロスを考える」（5月21日）

https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/events/e_z0107_00013.html

☆愛媛大学大学院農学研究科SDGsシンポジウム

（5月30日）

「農学×SDGs 2022 ～世界を変える農学研究を目指して～」

https://www.ehime-u.ac.jp/data_event/data_event-189047/

4. 2022年度の競争的研究資金について

☆戦略的国際共同研究推進委託事業のうち二国間国際共同研究事業（米国との共同研究分野）（農林水産技術会議）

https://www.affrc.maff.go.jp/kokusaikenkyu/bilateral_research_cooperation_between_USA_and_Japan_r4.html

応募期限：5月23日

☆科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（独立行政法人日本学術振興会）
（国際共同研究加速基金（国際先端研究））

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/35_kokusai/05_sendou/download.html

応募期限：5月18日

- ☆科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（独立行政法人日本学術振興会）
（国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B）））

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/35_kokusai/04_kyoudoub/koubo.html

応募期限：5月31日

- ☆研究成果最適展開支援プログラム 産学共同（育成型／本格型） (JST)

応募期限：5月17日正午

<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

- ☆研究成果最適展開支援プログラム トライアウト (JST)

応募期限：5月19日正午

<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

- ☆未来社会創造事業(探索加速型) (JST)

応募期限：5月25日正午

<https://www.jst.go.jp/mirai/jp/open-call/research/r04/index.html>

- ☆戦略的創造研究推進事業 ACT-X (JST)

応募期限：5月31日正午

<https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian.html>

- ☆さがけ 2022 年度研究提案募集 (JST)

応募期限：5月31日正午

<https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian.html>

- ☆CREST 2022 年度研究提案募集 (JST)

応募期限：6月7日正午

<https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian.html>

- ☆社会技術確立開発事業 (JST)

SDGs の達成に向けた共創的確立開発プログラム

（シナリオ創出フェーズ、ソリューション創出フェーズ）

- ☆NEDO 先導研究プログラム/未踏チャレンジ 2050 (NEDO)

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00020.html

応募期限：5月23日

- ☆新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業 (NEDO)

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100354.html

応募期限：5月19日

以上の競争的研究資金については、対象分野も含めて下記の東海生研ホームページでもご覧いただけます。

- ☆民間の競争的研究資金

（東海生研ホームページの NEWS 参照） <http://www.biotech-tokai.jp/>

.....

編集後記

5月の大型連休が終わり、青葉若葉が美しい季節になりました。
東海生研の新年度の最初のイベントとして、第1回セミナーを6月16日（木）に開催
します。農林水産業においては、地理的表示等の知財による産品のブランド化などは、ま
だまだ進んでいませんので、その利用について弁理士の丸山修様にご講演をお願いしまし
た。地元で農林水産業の活性化に活かしていただければ幸いです。
どうぞふるってご参加下さい（会場参加の他、オンライン参加も可能です）。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586
E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp （*を@に書き換えてください）
URL : <http://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録ご案内 : <http://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2022年6月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第210号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携支援事業

☆NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会総会および第1回セミナー

【開催日時】2022年6月16日（木）

総会 14:30～15:30

第1回セミナー 15:40～16:40

【開催場所および開催方法】「ウインクあいち」 1301 会議室

（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

会場（定員50名）およびZoom Webinarによるオンライン（定員100名）開催
の併用型

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構中日本農業研究センター、

公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

【講演内容】

演題 「知財・地理的表示等の利用による農林水産物のブランド化」

講師 日本弁理士会（東海会） 知的財産支援委員会委員長

弁理士 丸山 修 氏

【参加申込】参加無料。まだ、定員に余裕がございます。

参加申込みは、当研究会の下記のホームページにある「参加申込書」を取り出し、必要事項をご記入の上、下記メールアドレス宛にお送り下さい。
参加申込みをされた方には、事前に招待メールでURLをお送り致します。

<http://www.biotech-tokai.jp/archives/4697>

E-mail: npo-tokai*ab.auone-net.jp（*を@に変えて下さい。）

担当：事務局 岩佐精二 宛て

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆名古屋大学博物館 特別展関連講演会（対面・オンライン同時開催）

～世界の発酵食をフィールドワークする～

【開催日時】全7回（残り4回：6月11日、6月25日、7月9日、7月30日）

各回とも13:00～15:30（対面は全て満席で締切、オンラインは定員200名）

【開催案内】<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/#000534>

☆「第17回食育推進全国大会 in あいち」シンポジウム

～人口減少社会での持続可能な食と農をあいちから考える～

【開催日時】2022年6月18日（土）13:00～15:00

【開催場所】Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）会議室 L1

（愛知県常滑市セントレア5丁目10-1（中部国際空港島））

【開催方法】YouTubeによるオンライン配信を実施（要事前申込み）

【主催】東海農政局

【開催案内：プレスリリース】

<https://www.maff.go.jp/tokai/press/seikatsu/220516.html>

【内容】上記の開催案内参照。

基調講演、講演（取組事例の紹介等（5事例））、パネルディスカッション

【申込期限】会場の定員に達した時点で受付を終了。

【申込方法】上記の開催要領の「申込方法を参照」

3. その他の地域でのセミナー・シンポ・会議等

☆2022年度常緑果樹研究会（オンライン）

【開催日時】2022年8月25日（木）13:10～15:35（全体会議）

15:45～17:00（栽培分科会）

【開催方法】Zoomによるweb会議

【主催】農研機構 果樹茶業研究部門

【開催要領】https://www.naro.go.jp/laboratory/nifts/contents/kaigi/r4_jouryokukajyuken.html

【内容】全体会議 テーマ「カンキツにおけるスマート農業」

プログラム：https://www.naro.go.jp/laboratory/nifts/contents/kaigi/r4_jouryokukajyuken.html

【参集範囲】果樹関係行政機関、国立研究開発法人、公設試験研究機関、学識経験者、カンキツ研究ネットワークを構成する者、カンキツ新技術・新品種研修受講者、JA等関係者、マスコミ関係者等

【申込】申込期限は7月27日（水） 申込方法は、上記の開催要領参照。

4. 2022～2023年度の競争的研究資金について

競争的研究資金については、各省庁、日本学術振興会、JST、NEDO等、及び民間の研究資金について、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」に最新情報を掲載していますのでご覧ください。

（東海生研ホームページのNEWS（お知らせ）のURL）<http://www.biotech-tokai.jp/>

5. その他の情報

☆「農林水産研究イノベーション戦略2022」が策定されました（令和4年5月）。

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/innovate/index.html>

.....

編集後記

6月に入り、梅雨の前触れのように雨天や曇天の日が多くなりました。この時期に似合うアジサイ（紫陽花）の花が咲き始めました。ガクアジサイは日本に自生していて、ホンアジサイは日本でガクアジサイから改良された園芸品種です。ヨーロッパで品種改良されたのがセイヨウアジサイで、逆輸入されて観賞用に栽培されています。

ところで、東海生研の新年度の最初のイベントとして、第1回セミナーを6月16日（木）に開催します。農林水産業の分野において、地理的表示、商標等の知財による製品のブランド化は重要です。その利用について、日本弁理士会（東海会）知的財産支援委員会 委員長の弁理士 丸山修様にご講演をお願いしました。本セミナーの内容が、地元の農林水産業の活性化に活かしていただければ幸いです。

どうぞ、ふるってご参加下さい（会場参加の他、オンライン参加も可能です。まだ、参加申込み可能です）。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX：052－789－4586

E-mail：bio-npo2*y4.dion.ne.jp （＊を@に書き換えてください）

URL：<http://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録ご案内：<http://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2022年7月11日発行

東海生研 ～メールマガジン 第211号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第2回セミナー

当研究会は、毎年、農林水産・食品産業に関わる5つの専門部会の新技術等についての講演会を開催しています。今年度の開催予定は下記の通りです。

【開催日時】2022年9月29日（木）13:30～17:30

【開催場所】ウインクあいち 12階 1204会議室（名古屋駅近く）

（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【開催方法】会場参加及びオンライン（Zoom Webinar）参加の併用型

【講演】講師と演題（順不同：今後、HP等で講演の順番、時間をご連絡します）

- ・食品部会 静岡県立大学食品生命科学科 学科長 下山田 真 氏
「豆乳の品質向上のための加工技術開発」
- ・作物部会 岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授 赤木剛士 氏
「ディープラーニングによる青果物の品質評価や嗜好性の予測」
- ・畜産部会 株式会社ファームノート 代表者 下村瑛史 氏
「スマート畜産～ICT技術を活用した牛群管理～」
- ・林産部会 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
林業工学研究領域 領域長 毛綱昌弘 氏
「電磁誘導式自動走行フォワードによる集材作業の無人化に関する研究」
- ・水産部会 国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産研究所 松山知正 氏
「アコヤガイの大量死の原因病原体の特定と検出法」

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NPO法人東海地域生物系先端技術研究会

【参加申込み】後日、当研究会ホームページ及びメールマガジンでご案内致します。

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆名古屋大学博物館 特別展関連講演会（対面・オンライン同時開催）

～世界の発酵食をフィールドワークする～

【開催日時】全7回（残り1回：7月30日）

13:00～15:30 （対面は満席で締切、オンラインは定員200名）

【開催案内】<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/#000534>

3. その他の地域でのセミナー・シンポ・会議等

☆東北ハイテク研究会講演会

【開催日時】2022年7月13日（水）15:15～16:30

【開催方法】オンライン開催（Zoom ウェビナー）によるライブ配信

【演題】「スマート農業実証プロジェクトの取り組みから見るスマート農業普及の可能性と課題」

【開催チラシ】http://tohoku-hightech.jp/file/seminar/r4_220713_info.pdf

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

【参加申込】参加費無料。申し込みは、上記の「開催チラシ」にある申込フォーム（URL）からお申込み下さい。

☆2022年度常緑果樹研究会（オンライン）

【開催日時】2022年8月25日（木）13:10～15:35（全体会議）

15:45～17:00（栽培分科会）

【開催方法】Zoom による web 会議

【主催】農研機構 果樹茶業研究部門

【開催要領】https://www.naro.go.jp/laboratory/nifts/contents/kaigi/r4_jouryokukajyukuken.html

【内容】全体会議 テーマ「カンキツにおけるスマート農業」

プログラム：https://www.naro.go.jp/laboratory/nifts/contents/kaigi/r4_jouryokukajyukuken.html

【参集範囲】果樹関係行政機関、国立研究開発法人、公設試験研究機関、学識経験者、カンキツ研究ネットワークを構成する者、カンキツ新技術・新品種研修受講者、JA 等関係者、マスコミ関係者等

【申込】申込期限は7月27日（水） 申込方法は、上記の開催要領参照。

4. 2022～2023年度の競争的研究資金について

農林水産関係

○ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/kobo/r4-4/index.htm

○スマート農業技術活用産地支援事業

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/153812.html

○「知」の集積による産学連携推進事業のうちバイオエコノミー推進人材活動支援事業

<https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/shotatsu/koubo/2022BIO.html>

○戦略的スマート農業技術等の開発・改良の第2回公募（予告）

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/news/2022/153808.html>

他の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO 等、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますので

ご覧下さい。

(東海生研ホームページの NEWS (お知らせ) の URL) <https://www.biotech-tokai.jp/>

5. その他の情報

☆「農林水産研究イノベーション戦略 2022」が策定されました(令和4年5月)。

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/innovate/index.html>

.....

編集後記

7月に入りましたが、今年の梅雨は6月末に梅雨明け宣言が出され、観測史上最短となりました。その後、40℃近くの猛暑に見舞われましたが、今後の異常高温が危惧されます。こまめに水分補給するなど熱中症にならないように気をつけましょう。

また、新型コロナウイルスの患者数が増加傾向にありますが、9月29日に予定しています当研究会の第2回セミナーは会場参加とオンライン参加の併用型としており、開催に向けて準備を進めてまいります。有用な情報満載の本セミナーへご参加いただきますように、よろしくお願い致します。

=====《メールマガジンに関するお問い合わせは》=====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX: 052-789-4586

E-mail: bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL: <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録ご案内: <https://www.biotech-tokai.jp/ezone-reg>

2022年8月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第212号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第2回セミナーの開催

当研究会は、毎年、農林水産・食品産業に関わる5つの専門部会の新技術等に関する講演会を開催しています。今年度の開催予定は下記の通りです。

【開催日時】2022年9月29日（木）13:20～17:00

【開催場所】ウインクあいち 12階 1204会議室（名古屋駅近く）

（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【開催方法】会場参加及びオンライン（Zoom Webinar）参加の併用型

【プログラム】

13:20～13:30

・開会 NPO法人東海生研 事務局長 大石一史

・挨拶 企画運営委員会委員長（名古屋大学大学院生命農学研究科 教授）福島和彦

13:30～14:10

・水産部会 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所
魚病研究センター 松山知正氏

「アコヤガイの大量死の原因病原体の特定と検出法」

14:10～14:50

・畜産部会 株式会社ファームノート 代表 下村瑛史氏

「スマート畜産～ICT技術を活用した牛群管理～」

14:50～15:00 休憩

15:00～15:40

・林産部会 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
林業工学研究領域 領域長 毛綱昌弘氏

「電磁誘導式自動走行フォワーダによる集材作業の無人化に関する研究」

15:40～16:20

・食品部会 静岡県立大学食品生命科学科 教授 下山田 真氏

「豆乳の品質向上のための加工技術開発」

16:20～17:00

・作物部会 岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授 赤木剛士氏

「ディープラーニングによる青果物の品質評価や嗜好性の予測」

17:00

・閉会 NPO法人東海生研 コーディネーター 岩佐精二

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

【参加申込み】後日、当研究会ホームページ及びメールマガジンでご案内致します。

なお、講師のうち、松山様は遠隔講演、他の4名の講師は会場での講演となります。

(17:15～17:45)

(会場における名刺交換会)

☆第3回セミナーの開催（予告）

【開催日時】2022年11月8日（火）13:30～17:10

【開催場所】ウインクあいち 9階 904会議室（名古屋駅近く）

（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【開催方法】会場参加及びオンライン（Zoom Webinar）参加の併用型

【テーマ】農林水産業の脱炭素に向けた取り組みと課題

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の開催

【開催方法】ハイブリッド開催（会場＋オンラインの同時開催）

新型コロナウイルスの状況によって開催方法を変更する可能性があります。

【開催場所】ウインクあいち （名古屋市中村区名駅4丁目4-38：名古屋駅から3分）

【開催日時・プログラム】

1日目 展示会 2022年12月1日（木） 会場：7階 702～704号室

13:00～13:20 開会式

13:20～17:00 ブース展示

2日目 発表会 2022年12月2日（金） 会場：12階 1202号室

10:00～12:00 東海4県農業関係試験研究機関連携協定によるシンポジウム

13:00～14:30 東海生研主催の成果発表会

【Web展示】2022年12月1日（木）～2022年1月10日（火）

東海生研HPで出展機関のデータ（映像、テキスト等）の公開

【出展募集】出展料 無料

ブース展示、Web展示の2種類があります。

展示方法及び「出展申込書」は下記のURLをご覧ください。

出展申し込みは、11月2日（水）までにメールで送付して下さい。

<https://www.biotech-tokai.jp/archives/4834>

【主催】農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課産学連携室

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

【共催】東海4県農業関係試験研究機関

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構中日本農業研究センター
公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示 ～食中毒から身を守るには～

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heya/tokubetsu/index.html>

展示期間：8月1日～8月12日

3. その他の地域でのセミナー・シンポ・会議等

☆東北ハイク研究会セミナー

～スマート農業実証プロジェクトにおける経営データの有効活用の方

（集めた経営データをどう活かすか）～

【開催日時】令和4年8月30日（火） 13：15～15：30

【開催方法】Zoom（ウェビナー）によるオンライン開催

【開催案内】http://www.tohoku-hightech.jp/file/seminar/r4_220830_info.pdf

【内容】

第1報告 スマート農業実証プロジェクトで得られた経営データをどう活用するか

農研機構 本部 企画戦略本部 農業経営戦略部

営農支援ユニット ユニット長 松本 浩一 氏

第2報告 超大規模実証経営体におけるスマート農業技術の導入効果と経営データの有

効活用の実態

農研機構 東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域

生産力増強グループ グループ長補佐 宮路 広武 氏

質疑討論 司会：東北ハイク研究会 事務局長 門間 敏幸 氏

【参加費】無料

【お申込み】開催案内の申込フォーム（URL）からお願いします。

（ご案内は東北ハイク研究会HPにも掲載）

☆「アグリビジネス創出フェア2022」（東京ビッグサイト）の開催

【開催期間】令和4年10月26日（水）～10月28日（金）

3日間とも、10時会場～17時30分閉場

【会場】東京ビッグサイト 西展示場（東京都江東区3-11-1）

【開催テーマ】「産学連携イノベーション」～スタートアップ創出元年～

【開催案内】<http://www.agri-renkei.jp/news/2022/07/13-01.html>

【主催】農林水産省

出展募集は終了しました。

4. 2022 年度の競争的研究資金について

農林水産関係

○戦略的スマート農業技術等の開発・改良の第 2 回公募 (生研支援センター)

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/offering/koubo/2022-2.html>

【事業趣旨】 スマート農業技術・機器の開発が依然として不十分な品目や分野を対象に、生産現場のスマート化を加速するために必要な農業技術を開発・改良する提案について、第 2 回公募を実施する。

【公募要領】

https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/koubo-youryou_r3_hosei_dai2kai.pdf

【公募締切日】 令和 4 年 8 月 22 日 (月) 正午

他の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO 等、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。

(東海生研ホームページの NEWS (お知らせ) の URL) <https://www.biotech-tokai.jp/>

5. その他の情報

(1) 新技術情報

「(研究成果) 圃場の病害虫をスマホで診断」

<https://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

(左の欄「研究成果」クリック→研究成果 令和 3 年度 最下段)

岐阜県農業技術センターは、農研機構など 30 機関で構成される「病害虫 AI 診断コンソーシアム」に参画し、農林水産省の「人工知能未来農業創造プロジェクト」において、AI を活用した病害虫診断技術の開発に取り組みました。岐阜県農業技術センターはトマトに発生する病害虫を対象に、精度の高い画像を大量に収集するとともに、試作された AI の精度検証を行いました。本プロジェクトの成果は、参画機関の日本農薬(株)の提供するアプリ「レイミーの AI 病害虫雑草診断」<https://www.nichino.co.jp/products/aiapp/index.html> をインストールすることにより、当面は無料で利用できます。このスマートフォン用アプリで、圃場で病害虫等を撮影すると、診断結果が確率として示され、例えば、害虫の場合には、主要種の名称、発生活長、発生・生態、防除のポイント、利用できる農薬名などが表示されます。

なお、東海地域では、愛知県農業総合試験場(キュウリ)、三重県農業研究所・中央農業改良普及センター(ナス)、静岡県農林技術研究所(イチゴ)も本事業に参画し、それぞれ分担する作物における病害虫の画像収集・検証等で貢献しています。

(2) その他の技術情報

☆「農林水産研究イノベーション戦略 2022」が策定されました（令和 4 年 5 月）。

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/innovate/index.html>

.....

編集後記

8 月に入りましたが、新型コロナウイルスの感染拡大がおさまる気配がみえません。また、秋には食料品などの値上げラッシュ、冬にはエネルギー不足による電力不足などが懸念されています。更に、長期的には人口減少、少子高齢化、労働生産性の低迷などの課題も抱えています。こうした課題に対して諸々の対策が必要ですが、日本経済の活力を取り戻し、産業競争力を強化するカギの一つとして、「スタートアップ」が重視され、政府は今後 5 年間に「スタートアップ」への投資を 10 倍に増やすとの目標を掲げ、スタートアップへの支援を網羅的に強化して行く方針を打ち出しています。イノベーションによる革新的な商品・サービスとして、消費者・利用者における画期的な利便性向上、新たな価値の提供など、消費者・利用者に広く受け入れられるモノ・コトが求められています。

農林水産・食品産業においても、国際競争力の強化のため継続的に技術革新が進められています。9 月 29 日に開催します当研究会の第 2 回セミナーにおいては、食品・作物・畜産・林産・水産の各専門分野での新たな技術開発のための情報提供を行っています。本メールマガジンに講演タイトルと講師を掲載しましたので、ご覧いただき、本セミナーへご参加いただきますように、よろしくお願い致します。また、11 月 8 日に第 3 回セミナー、12 月 1 日から「アグリビジネス創出フェア in 東海」を開催しますので、ご参加下さい。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録ご案内 : <https://www.biotech-tokai.jp/ezone-reg>

2022年9月12日発行

東海生研 ～メールマガジン 第213号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第2回セミナーの開催

当研究会は、毎年、農林水産・食品産業に関わる5つの専門部会の新技術等に関する講演会を開催しています。今年度は下記の通り開催致します。

【開催日時】2022年9月29日（木）13:20～17:00

【開催場所】ウインクあいち 12階 1204会議室（名古屋駅近く）

（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【開催方法】会場参加及びオンライン（Zoom Webinar）参加のハイブリッド開催

【プログラム】

13:20～13:30

・開会 NPO法人東海生研 事務局長

・挨拶 企画運営委員会委員長（名古屋大学大学院生命農学研究科 教授）福島和彦

13:30～14:10

・水産部会 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所

魚病研究センター 松山知正氏（遠隔講演）

「アコヤガイの大量死の原因病原体の特定と検出法」

14:10～14:50

・畜産部会 株式会社ファームノート 代表 下村瑛史氏（会場講演）

「スマート畜産～ICT技術を活用した牛群管理～」

14:50～15:00 休憩

15:00～15:40

・林産部会 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所

林業工学研究領域 領域長 毛綱昌弘氏（会場講演）

「電磁誘導式自動走行フォワーダによる集材作業の無人化に関する研究」

15:40～16:20

・食品部会 静岡県立大学食品生命科学科 教授 下山田 真氏（会場講演）

「豆乳の品質向上のための加工技術開発」

16:20～17:00

・作物部会 岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授 赤木剛士氏（会場講演）

「ディープラーニングによる青果物の品質評価や嗜好性の予測」

17:00

・閉会 NPO法人東海生研 事務局

(17:00～17:30)

・会場における名刺交換会

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NP0 法人東海地域生物系先端技術研究会

【参加申込み】当研究会ホームページ（下記 URL）から参加申込書を取り出して、必要事項をご記入の上、電子メールでお送りください。申込み締切日は、9月19日です。 URL: <https://www.biotech-tokai.jp/archives/4806>

☆第3回セミナーの開催（予告）

【開催日時】2022年11月8日（火）13:30～17:10

【開催場所】ウインクあいち 9階 903会議室（名古屋駅近く）

（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【開催方法】ハイブリッド方式（リアル参加+Zoom Webinarでのオンラインでの開催）

【テーマ】「農林水産業の脱炭素に向けた取り組みと課題」

講演タイトルと講演時間割

挨拶 NP0 東海生研企画運営委員長	13:30-13:45
1) 農林水産省地球温暖化対策について	13:45-14:15
2) 施設園芸における省エネ対策	14:15-14:45
休憩	15:15-15:30
3) 森林・木材利用による温室効果ガス排出量の削減	15:30-16:00
4) 小規模水力発電電力から水素を生成するモデル	16:00-16:30
5) 排出二酸化炭素の回収技術	16:30-17:10

講師、参加申込み等の詳細は、今後、当研究会のホームページに掲載しますので、適宜ご確認下さい。

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NP0 法人東海地域生物系先端技術研究会

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の開催

【開催方法】ハイブリッド開催（会場+オンラインの同時開催）

（新型コロナウイルスの状況によって開催方法を変更する場合があります。）

【開催場所】ウインクあいち （名古屋市中村区名駅4丁目4-38： JR名古屋駅桜通り口から徒歩5分）

【開催日時・プログラム】

1日目 展示会 2022年12月1日（木） 会場：7階 702-704
13:00-13:20 開会式
13:20-17:00 ブース展示

2日目 発表会 2022年12月2日（金） 会場：12階 1202号室

10:00-12:00 東海4県農業関係試験研究機関連携協定によるシンポジウム

13:00-14:30 東海生研主催の成果発表会（ショートプレゼンテーション）

【Web 展示】2022 年 12 月 1 日（木）～2023 年 1 月 10 日（火）

東海生研 HP で出展機関のデータ（映像、テキスト等）の公開

【出展募集】出展料 無料

ブース展示、Web 展示の2種類があります。

展示方法及び「出展申込書」は下記の URL をご覧ください。

出展申し込みは、11 月 2 日（水）までにメールで送付して下さい。

<https://www.biotech-tokai.jp/archives/4834>

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

【共催】東海4県農業関係試験研究機関

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構中日本農業研究センター、

公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局 消費者の部屋・常設展示

～東海3県の農林水産業データ 花き・米の生産費～

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heya/josetsu/202209.html>

3. その他の地域でのセミナー・シンポ・会議等

☆東北ハイクテク研究会セミナー

～改正された種苗法を学ぶ～

【開催日時】令和4年9月21日（水）13:30～15:30

【開催方法】オンライン開催（Zoom（ウェビナー）によるライブ配信）

【参集範囲】植物品種の育成者権保護や利用に興味のある方、行政・研究・普及関係者の方など

【開催案内】http://www.tohoku-hightech.jp/file/seminar/r4_220921_info.pdf

【講演】

1) 改正種苗法について（法改正の概要と留意点）

農林水産省 輸出・国際局 知的財産課 課長補佐 松山亘克 氏

2) 農研機構育成の登録品種の自家用の栽培向け増殖に係る許諾について

農研機構本部 知的財産部 知財・育成者権管理役 山本俊哉 氏

3) 植物品種の海外での保護や育成者権の侵害を防ぐ取り組み

公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

イノベーション事業部長 永田 明 氏

意見交換会

【参加費】無料

【お申込み】上記の開催案内の申込フォーム（URL）からお願いします。

（ご案内は東北ハイテク研究会HPにも掲載）

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

☆「アグリビジネス創出フェア 2022」（東京ビッグサイト）の開催

【開催期間】令和4年10月26日（水）～10月28日（金）

3日間とも、10時開場～17時30分閉場

【会場】東京ビッグサイト 西展示場（東京都江東区3-11-1）

【開催テーマ】「産学連携イノベーション」～スタートアップ創出元年～

【ホームページ（トップページ）】<https://agribiz.maff.go.jp/>

【主催】農林水産省

4. 2022～2023年度の競争的研究資金について

農林水産関係

☆2023年度地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (JST)

<https://www.jst.go.jp/global/koubo.html>

分野等：

1. 環境・エネルギー分野「地球規模の環境課題の解決に資する研究」
2. 環境・エネルギー分野「カーボンニュートラルの実現に向けた資源・エネルギーの持続可能な利用に関する研究」
3. 生物資源分野「生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究」
4. 防災分野「持続可能な社会を支える防災・減災に関する研究」

公募期間：2022年9月6日～11月7日

☆グリーンイノベーション基金事業/食料・農林水産業のCO₂等削減・吸収技術の開発 (NEDO)

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00015.html

分野等：

1. 高機能バイオ炭等の供給・利用技術の確立
 - 1) 高機能バイオ炭等の開発
 - 2) 高機能バイオ炭等によるCO₂固定効果の実証・評価等
2. 高層建築物等の木造化に資する等方性大断面部材の開発
 - 1) 等方性大断面部材の製造要素技術の開発
 - 2) 等方性大断面部材の連続製造技術の確立
 - 3) 等方性大断面部材の規格化・告示化のための性能評価と設計法の提案
3. ブルーカーボンを推進するための海藻バンク整備技術の開発

公募期間：2022 年 8 月 24 日～10 月 24 日

☆上記以外の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆(研究成果) 「キャベツの芯を生まれ変わらせ新素材に！」

～廃棄部位を利用して 3D プリント食品の表現力を拡大～

農研機構食品研究部門が研究推進役となって実施した内閣府ムーンショット型農林水産研究開発事業「フードロス削減と QoL 向上を同時に実現する革新的な食ソリューションの開発」により本研究成果が得られました。研究成果として、1) キャベツの芯を乾燥・粉碎して孔径 1mm のふるいを通した大きさの粗粉末を調整することにより、歯ごたえのあるペースト状食品を作出できました。2) この食品を用いて 3D フードプリンタで造形可能な条件を明らかにしました。この技術により、キャベツの芯が有する栄養・機能性成分を摂取でき、かつ、その硬さを新たな食感表現の手段として新たな食品製造法に活用することにより、カット野菜製造時などで生じるフードロスの削減が期待されます。また、本技術により、ブロッコリーの茎など、可食部よりも硬いために除去され大量に廃棄されている他の農産物の部位についても、新素材として活かせる可能性が示されました。

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nfri/154471.html

(2) その他の技術情報

☆「農林水産研究イノベーション戦略 2022」が策定されました（令和 4 年 5 月）。

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/innovate/index.html>

.....

編集後記

9 月に入りましたが、8 月末に令和 5 年度予算概算要求が公表されました（下記 URL）。

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/yosan/mokuji.htm>

令和 5 年度予算の研究推進課の概算要求では、令和 4 年度と比べてほぼ倍増していること、新規要求として、スマート農業の総合推進対策の中に、1) 「環境保全型スマート農業技術等の実証」と 2) 「次世代スマート農業技術の開発・改良・実証」という項目が加えられたこと、また、「「知」の集積と活用場によるイノベーションの創出」の中に、3) 「オープンイノベーション研究・実用化推進事業」という項目が加えられたことです。この中の開発研究ステージにおいて、実用化タイプでは民間企業が、現場課題解決タイプでは公設

試が代表機関となって実施することとされています。上記の URL により「令和 5 年度予算概算要求の概要」を参照していただき、東海地域からの応募が増加することを期待しています。

ところで、9 月から 12 月にかけて東海生研（農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室とともに主催）のイベントとして、第 2 回セミナー（9 月 29 日）、第 3 回セミナー（11 月 8 日）及びアグリビジネス創出フェア in 東海（12 月 1 日～12 月 2 日、但し、web 展示は 12 月 1 日～1 月 10 日）が開催されます。また、農林水産省主催のアグリビジネス創出フェア 2022（東京ビッグサイト）が 10 月 26 日～28 日に開催されます。これらイベントを通じて、ビジネスに役立つ情報を得ていただければ幸いです。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp （*を@に書き換えてください）

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料） ご案内 : <https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2022年10月11日発行

東海生研 ～メールマガジン 第214号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第3回セミナーの開催について

【開催日時】2022年11月8日（火）13:30～17:10

【開催場所】ウインクあいち 9階 903号室（名古屋駅近く）

（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【開催方法】ハイブリッド開催（会場開催+Zoom Webinarによるライブ配信）

【開催案内】<https://www.biotech-tokai.jp/archives/5013>

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NP0 法人東海地域生物系先端技術研究会

【テーマ】「農林水産業の脱炭素に向けた取り組みと課題」

講演タイトルと講演時間割

挨拶 NP0 東海生研企画運営委員長 13:30-13:45

1) 農林水産省地球温暖化対策について 13:45-14:15

農林水産省大臣官房 地球環境対策室 中嶋健次 氏

2) 施設園芸における省エネ対策 14:15-14:45

愛知県農業総合試験場 研究戦略部 林 元樹 氏

休憩 15:15-15:30

3) 施設園芸の脱炭素に向けた将来構想 14:45-15:15

うれし野アグリ株式会社 辻 保彦 氏

休憩 15:15-15:30

4) 森林・木材利用による温室効果ガス排出量の削減 15:30-16:00

三重大学大学院生物資源学研究科 淵上佑樹 氏

5) 小規模水力発電電力から水素を生成するモデル 16:00-16:30

木更津高等専門学校 大澤 寛 氏

日本水力株式会社 市橋俊彦 氏

6) 排出二酸化炭素の回収技術 16:30-17:10

名古屋大学大学院工学研究科 則永行庸 氏

東邦ガス株式会社 技術研究所 増田宗一郎 氏

【参加申込】参加費は無料。会場は定員45名。ライブ配信の定員は100名。

参加申込は、所属機関名、氏名、連絡先（メールアドレス）を

東海生研事務局 岩佐精二宛てにメールでお送り下さい。

メールアドレスは、npo-tokai*ab.auone-net.jp（*を@に代えて下さい）

です。お申込み締切日は11月1日です。

複数人参加される場合は、人数をご連絡下さい。Zoom Webinar の URL は、
メールで事前に参加者（複数人参加の場合は代表の方）にお送り致します。

.....

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の開催について

【開催方法】ハイブリッド開催（会場＋オンラインの同時開催）

（新型コロナウイルスの状況によって開催方法を変更する場合があります。）

【開催場所】ウインクあいち（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

JR名古屋駅桜通りから徒歩5分

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

【共催】東海4県農業関係試験研究機関

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構中日本農業研究センター、
公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

【開催日時・プログラム】

1日目 展示会 2022年12月1日（木） 会場：7階 702-704

13:00-13:20 開会式

13:20-17:00 ブース展示

2日目 発表会 2022年12月2日（金） 会場：12階 1202号室

ハイブリッド開催

10:00-12:00 東海4県農業関係試験研究機関連携協定によるシンポジウム

13:00-14:30 東海生研主催の成果発表会（ショートプレゼンテーション）

【Web展示】2022年12月1日（木）～2023年1月10日（火）

東海生研HPで出展機関のデータ（映像、テキスト等）の公開

【出展募集】出展料 無料

ブース展示、Web展示の2種類があります。

展示方法及び「出展申込書」は下記のURLをご覧ください。

出展申し込みは、11月2日（水）までにメールで送付して下さい。

<https://www.biotech-tokai.jp/archives/5011>

2日目（12月2日）の発表会については、近々プログラムを公表するとともに
に参加申込みを開始します。HP等で公開しますので是非参加をご検討下さい。

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆三重大学伊勢志摩サテライトシンポジウム

～みえの未来図共創DAY in 伊勢志摩～

【開催日時】2022年10月21日（金）13:30～17:00（12:00～受付）

【開催場所】伊勢シティホテル2F 平安・桃山・白鳳の間（伊勢市吹上1丁目11-31）

【対象】伊勢志摩地域の企業・自治体・団体関係者、三重大学の教育研究活動にご興味のある方（一般の方歓迎）

【開催案内】<https://www.mie-u.ac.jp/topics/events/2022/08/post-560.html>

【チラシ】<https://www.mie-u.ac.jp/topics/events/2022/08/post-560.html>

第1部：伊勢志摩地域から描く、みえの未来図

講演1：「若者と地域のつながり作りを考える」

人文学部講師 吉村真衣 氏

講演2：「あんしんなブロック塀をめざして」

工学研究科教授 三田紀行 氏

講演3：「志摩半島沿岸の藻場の衰退と水産資源への影響」

生物資源学研究科教授 松田浩一 氏

講演4：「伊勢市における獣害対策～共存のための区画づくりとジビエの活用～」

生物資源学研究科准教授 三島隆 氏

第2部：談話交流の場

情報交換会

【参加申込】参加費：無料。定員 80 名。お申込みは、上記の開催案内の申込フォームに必要事項を入力して送信して下さい。メール、FAX でもお申込みいただけます。

.....

☆「伝統的酒造りシンポジウム in 名古屋～和食文化を支えるみりんの魅力と将来性」

【開催日時】2022 年 11 月 5 日（土） 13：30～16：00

【開催場所】名古屋クレストンホテル9階 The Banquet

【開催方法】対面およびオンラインによる開催

【主催】名城大学

【開催案内】https://www.meijo-u.ac.jp/event/detail_27829.html

【講演・座談会】

第1部 講演

(1)「麹が醸す甘美な酒、本みりんの温故知新」

名城大学農学部教授（応用微生物学） 加藤雅士 氏

(2)「料理におけるみりんの使い方と可能性」

日本料理「賛否両論」店主 笠原 将弘 氏

第2部 座談会

「和食文化を支えるみりんの魅力と将来性」

～みりんを使った和食、スイーツの試食と共に～

加藤 雅士 氏（名城大学農学部教授）

笠原 将弘 氏（日本料理「賛否両論」店主）

山田 幹夫 氏（甘強酒蔵（株）会長 全国本みりん協議会会長）

辻口 博啓 氏（モンサンクレールオーナーシェフ）

加藤 孝明 氏（白扇酒蔵（株）社長）

〔総合司会〕 青山 紀子 氏（フリーアナウンサー、ワインエキスパートエクセレンス、
SAKE DIPLOMA）

【参加申込】 受講料は無料。定員：来場 100 名、オンライン視聴 900 名。

お申し込みは 10 月 20 日（木）まで。応募多数の場合は抽選。抽選結果は
10 月 25 日（火）までにメールにて送付。

お申し込みはこちらの URL から <https://mirin-nagoya.jp>

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポ・会議等

☆「アグリビジネス創出フェア 2022」（東京ビッグサイト）の開催

【開催期間】 令和 4 年 10 月 26 日（水）～10 月 28 日（金）

3 日間とも、10 時開場～17 時 30 分閉場

【会場】 東京ビッグサイト 西展示場（東京都江東区 3-11-1）

【開催テーマ】 「産学連携イノベーション」～スタートアップ創出元年～

【プレスリリース（10 月 3 日）】

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/221003.html>

【主催】 農林水産省

.....

4. 2022～2023 年度の競争的研究資金について

農林水産・食品関係

☆2023 年度地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (JST)

<https://www.jst.go.jp/global/koubo.html>

分野等：

1. 環境・エネルギー分野「地球規模の環境課題の解決に資する研究」
2. 環境・エネルギー分野「カーボンニュートラルの実現に向けた資源・エネルギーの持続可能な利用に関する研究」
3. 生物資源分野「生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究」
4. 防災分野「持続可能な社会を支える防災・減災に関する研究」

公募期間：2022 年 9 月 6 日～11 月 7 日

☆2023 年度地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (JST)

<https://www.jst.go.jp/global/koubo.html>

分野等：

1. 環境・エネルギー分野「地球規模の環境課題の解決に資する研究」
2. 環境・エネルギー分野「カーボンニュートラルの実現に向けた資源・エネルギーの持続可能な利用に関する研究」
3. 生物資源分野「生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究」

4. 防災分野「持続可能な社会を支える防災・減災に関する研究」

公募期間：2022 年 9 月 6 日～11 月 7 日

☆グリーンイノベーション基金事業/食料・農林水産業の CO2 等削減・吸収技術の開発
(NEDO)

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00015.html

分野等：

1. 高機能バイオ炭等の供給・利用技術の確立
 - 1) 高機能バイオ炭等の開発
 - 2) 高機能バイオ炭等による CO₂ 固定効果の実証・評価等
2. 高層建築物等の木造化に資する等方性大断面部材の開発
 - 1) 等方性大断面部材の製造要素技術の開発
 - 2) 等方性大断面部材の連続製造技術の確立
 - 3) 等方性大断面部材の規格化・告示化のための性能評価と設計法の提案
3. ブルーカーボンを推進するための海藻バンク整備技術の開発

公募期間：2022 年 8 月 24 日～10 月 24 日

☆上記以外の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆ブドウ・ミカン施設栽培用の天敵を主体とした果樹のハダニ類防除体系標準作業手順書

農研機構を代表機関とする農食事業コンソーシアムは、果樹の難防除害虫であるハダニについて、ブドウとミカンの施設栽培で利用可能な天敵を主体とした防除体系を確立しましたが、最近、その標準作業手順書が公開されました。これらの果樹の施設栽培では、土着天敵が乏しいことからハダニが増殖しやすく、これまで薬剤防除を主体とした防除が行われてきました。しかし、ハダニ剤の散布回数が多く、このため、薬剤抵抗性ハダニが発生しやすく難防除化し問題となっていました。このため、天敵利用方法の研究を進めました。天敵の利用方法としては、自然発生の土着天敵が施設内で増殖しやすくする（草生栽培など）とともに、市販の天敵製剤（カブリダニ類）も適宜放飼します。天敵利用の防除体系を実施する場合には、天敵に影響する殺虫剤等の散布は控え、天敵には影響が無く（少なく）、ハダニには効果的な選択的薬剤を用い、天敵と選択的薬剤とがハダニの増殖抑制に協働的に働くようにします。この方法によって、化学農薬の散布回数等を全体的に

減少させることができました。この研究成果は、「みどりの食料システム戦略」で示されている化学農薬の削減にも貢献することができます。

・農研機構 HP:研究成果

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nipp/154612.html

(2)その他の技術情報

☆「農林水産研究イノベーション戦略 2022」が策定されました（令和 4 年 5 月）

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/innovate/index.html>

.....

編集後記

10 月に入り急に寒くなってきましたが、紅葉にはまだ早いようです。新型コロナに対する緊急事態宣言がなくなり、飲食業、観光地等への人出も徐々に回復しています。東海生研の「第 2 回セミナー」は 9 月 29 日に会場とオンラインで開催することができ、80 人ほどの方に参加していただき無事に終了しました。参加された方にお礼申し上げますとともに、得られた最新情報を皆様の活動に活かしていただければ幸いです。次の「第 3 回セミナー」も 11 月 8 日にハイブリッド型で開催します。申込締切日は 11 月 1 日となっています。また、12 月 1 日～2 日に開催の「アグリビジネス創出フェア in 東海」の出展申込み期限が 11 月 2 日となっております。本メールマガジン及び当研究会ホームページに詳しいご案内を掲載していますので、ご覧いただき、是非、ご参加下さい。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX：052-789-4586

E-mail：bio-npo2*y4.dion.ne.jp（*を@に書き換えてください）

URL：<https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料） ご案内：<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2022年11月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第215号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の開催について

【開催方法】ハイブリッド開催（会場＋オンラインの同時開催）

（新型コロナウイルスの状況によって開催方法を変更する場合があります。）

【開催場所】ウインクあいち（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

JR名古屋駅桜通りから徒歩5分

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NP0 法人東海地域生物系先端技術研究会

【共催】東海4県農業関係試験研究機関

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構中日本農業研究センター、
公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

【開催日時・プログラム】

1日目 展示会 2022年12月1日（木） 会場：7階 702-704号室

13:00-13:20 開会式

13:20-17:00 ブース展示

2日目 発表会 2022年12月2日（金） 会場：12階 1202号室

ハイブリッド開催

10:00-12:00 東海4県農業関係試験研究機関連携協定によるシンポジウム

13:00-14:30 東海生研主催の成果発表会（ショートプレゼンテーション）

【Web展示】2022年12月1日（木）～2023年1月10日（火）

東海生研HPで出展機関のデータ（映像、テキスト等）の公開

【東海生研ホームページでのご案内】<https://www.biotech-tokai.jp/archives/5226>

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆「スマート農業シンポジウム」

【開催日時】2022年11月28日（月）10:00～16:30

【開催方法】Zoom ウェビナーによるオンライン配信

【主催】東海農政局、国立研究開発法人農研機構中日本農業研究センター、公益財団法人
中部圏社会経済研究所

【開催案内】（プレスリリース）

https://www.maff.go.jp/tokai/press/seisan_kankyo/221027.html

【内容】詳しくは上記の開催案内をご覧ください。

第一部

「スマート農業セミナー」 ～持続可能な食料生産を支える農業イノベーション～

・基調講演

「農林水産分野におけるゼロエミッション実現に向けた取り組み」

NEDO 技術戦略研究センター 新領域・融合ユニット ユニット長 櫻谷 満一 氏

・パネルディスカッション

第二部

「スマート農業推進フォーラム 2022in 東海」 ～スマート農業の社会実装に向けて～

・講演 2 課題

・東海地域におけるスマート農業実証プロジェクト成果報告 5 課題

先端技術交流広場

「中山間地域で活用が期待されるスマート農業技術」をテーマに、東海地域のスマート農業実証プロジェクト参加企業によるスマート農業技術の紹介について、シンポジウム開催日に東海農政局 Web サイトに掲載される予定です。

【参加申込み方法】オンライン参加 200 名（先着順）。定員に達した時点で受付終了。

事前申込が必要です。公益財団法人中部圏社会経済研究所の Web サイトからお申し込み下さい。

<http://www.criser.jp/seminar/index.html>（外部リンク）

申込期限：令和 4 年 11 月 24 日（木曜日）

☆三重大学大学院生物資源学研究科 オープンラボ 2022

～地球温暖化と気候変動に対応する生物資源学研究と将来展望～

【開催日時】2022 年 12 月 10 日（土）13：00～16：40（受付開始 12：30～）

【開催場所】三重大学生物資源学部大講義室（収容人数：150 名）

【主催】三重大学大学院生物資源学研究科の研究活動

【協力】株式会社三重ティーエルオー

【対象者】関連の企業・団体、一般の方、教職員、学生

【開催案内チラシ】

<https://www.mie-u.ac.jp/topics/kohoblog/item/334ceefe8552af3da16bf1356641e1f7.pdf>

【内容】詳しくは上記の開催案内をご覧ください。

・開会挨拶 生物資源学研究科の

・基調講演 「地球気候変動における生物圏の役割」

総合地球環境学研究所 顧問・名誉教授 京都気候変動適応センター 所長

安成哲三 氏

・教員・学生による活動紹介

・パネルディスカッション

～地球温暖化と気候変動に対応する生物資源学研究と将来展望～

【参加申込み】参加費無料、定員 150 名。お申込みは、上記の開催案内チラシの URL を開き、チラシ右下の QR コードを読み取って、インターネットにて行なって下さい。

☆名城大学公開講座 2022 フィールドの科学 ～今、有機農業、自然栽培を考える～

【開催日時】2022 年 12 月 17 日（土）13：30～15：30

【開催場所】農学部附属農場 本館 2 階 講義室 1

【主催】名城大学農学部

【対象】一般市民、大学生、大学院生、高校生、その他

【開催案内】https://www.meijo-u.ac.jp/event/detail_27729.html

【講師】

農学部教授 礒井俊行 氏

農業生産法人みどりの里 野中慎吾 氏

【お申込み】参加費 無料。定員 80 名。申込み締切日は 2022 年 12 月 7 日（水）で、定員に達した時点で締め切られます。申込みフォームは、上記の開催案内にあります。

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポ・会議等

☆東北ハイテク研究会セミナー ～有機農業の現在とこれからを考える～

【開催日時】2022 年 11 月 18 日（金）13：15～15：45

【開催方法】会場及び Zoom ウェビナーによるハイブリッド開催

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

【開催案内】http://tohoku-hightech.jp/file/seminar/r4_221118_info.pdf

☆東北ハイテク研究会セミナー ～改正された種苗法を学ぶ～

【開催日時】2022 年 9 月 21 日（水）13：30～15：30

【開催方法】Zoom ウェビナーでオンライン開催

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

【開催案内】http://tohoku-hightech.jp/file/seminar/r4_220921_info.pdf

.....

4. 2022～2023 年度の競争的研究資金について

☆2022 年度の研究資金業務に関する応募前説明用の動画の公開及び個別相談会の開催

(生研支援センター)

生研支援センターは、幅広い分野から研究課題を提案してもらうことを目的として、2023 年度概算要求に基づいて、公募事業の概要や提案書作成等の留意点、事務手続き等について、動画を公開して説明しています。また、個別相談を希望される方を対象に個別相談会を実施しています(Web 会議形式、30 分/回程度)。

生研支援センターホームページ：

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/event/154700.html>

<個別相談会>

・ 申込受付期間

2022 年 10 月 31 日(月曜日)～11 月 15 日(火曜日) ※定員に達し次第締切

・ 実施期間

2022 年 11 月 22 日(火曜日)～11 月 30 日(水曜日) ※土日祝日除く

・ 申込方法

申込受付機関に以下の申込フォームからお申込みください。

[申込フォーム] <https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/individual2022>

(農林水産・食品関連)

☆グリーンイノベーション基金事業

バイオものづくり技術による CO2 を直接原料としたカーボンリサイクルの推進

https://www.nedo.go.jp/koubo/EF2_100190.html

分野等：

1. 有用微生物の開発を加速する微生物等改変プラットフォーム技術の高度化
2. CO2 を原料に物質生産できる微生物等の開発・改良
3. CO2 を原料に物質生産できる微生物等による製造技術等の開発・実証

公募期間：2022 年 10 月 27 日～12 月 12 日

☆上記以外の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますので、ご覧下さい。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1)新技術情報

☆食品関係（食品機能性・加工技術）

○超高齢化社会対応と輸出促進のための認知症糖尿病複合予防効果のある米加工食品の開発

新潟薬科大学を代表機関とする共同研究グループは、イノベーション強化研究推進事業（開発研究ステージ）により、下記の研究成果を得ました。すなわち、(1)難消化性米品種「新潟 129 号」の品種化に向けた生産力検定試験等の基礎資料を蓄積し、黒米「おくのむらさき」とともに実用的な栽培技術を確認し、(2) 黒米、超硬質米、一般米の配合による複合機能性米加工食品の製造方法を開発し、(3) 黒米、超硬質米などを原料とする米粉、米粉パン、米粉麺への加工技術を開発し、(4) ヒト介入試験において、上記加工米飯の摂取により有害事象が起こらず、12 週間の連続摂取により、認知機能（言語記憶能力）が有意に改善することを確認しました。また、この成果に基づき、特許が出願されました（特願 2021-133473 機能性米加工食品の製造方法（大坪研一・中村澄子：新潟薬科大学））。

・生研支援センターホームページ：イノベーション創出強化研究推進事業。研究成果 2022
https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/innovation/2022_results_kaihatsu-45.pdf

(2) その他の技術情報

☆「農林水産研究イノベーション戦略 2022」が策定されました（令和 4 年 5 月）

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/innovate/index.html>

.....

編集後記

11 月に入りましたが、11 月 7 日は暦の二十四節気で「立冬」になり、冬の始まりを表すとされています。昼間は暖かですが、朝夕は随分冷え込んで、昼夜の寒暖差が大きいので、風邪など引かぬように体調管理にお気を付け下さい。

ところで、東海生研の第 3 回セミナーは、11 月 8 日に会場・オンラインのハイブリッド型で開催され、100 名を超える参加者があり、7 名の講師からは地球温暖化ガス CO₂ 削減に関する斬新な内容の講演をしていただき、有り難うございました。本セミナーが今後の参加者の活動・取り組みに生かされることを期待致します。

次の東海生研のイベントとしては、12 月 1 日～2 日に「ウインクあいち」7 階会場とオンラインによるハイブリッド型開催があります。1 日目には、午後から開会式とブース展示・ポスター展示があり、2 日目には、午前中に共催する東海 4 県農業関係試験研究機関の連携協定に基づくシンポジウム、午後に東海生研主催の成果発表会を開催します。本メールマガジン及び当研究会ホームページに詳しいご案内を掲載しましたのでご覧いただき、ご参加下さい。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料） ご案内 : <https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2022年12月12日発行

東海生研 ～メールマガジン 第216号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携支援事業

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」のweb展示について

2022年度の「アグリビジネス創出フェア in 東海」は、12月1日～12月2日に開催されました。なお、出展機関のデータ（動画、テキスト等）を「web展示」として、東海生研ホームページ上で2023年1月10日（火）まで公開しています。

<https://www.biotech-tokai.jp/archives/5439>

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆食の安全に関するセミナー

～東海地域の未来のために、エシカルな消費を進めてみませんか～

【開催日時】2022年12月22日（木）13時～15時30分

【開催場所】AP名古屋8階 B・C会議室

（愛知県名古屋市中村区名駅4-10-25 名駅IMAIビル）

【開催方法】会場及びZoomによるオンライン開催

【主催】東海農政局

【開催案内】講演内容等が掲載されています。

<https://www.maff.go.jp/tokai/press/seikatsu/221125.html>

【申込方法】会場参加：50名、オンライン参加：450名 参加費：無料

申込期限：令和4年12月20日（火曜日）17時00分

定員に達した時点で受付終了となります。

東海農政局 Web サイトの参加申込フォームから必要事項を入力の上、お申し込みください。

（参加申込フォーム）

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/tokai/form/seikatsu/221222.html>

オンライン参加の場合、当日ログインする URL が開催前日までにメールにて通知されます。

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポ・会議等

☆令和4年度アグリ技術シーズセミナー in 北陸

～海外マーケットを見据えた日本酒の高品質保持技術の現状と課題解決の取組み～

【開催日時】2022年12月16日（金）13:30～17:00

【開催方法】Zoom Webinarによるオンライン開催

【主催】農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

（公社）農林水産・食品産業技術振興協会（JATAFF）

【共催】石川県食品技術研究者ネットワーク、石川県立大学

【開催案内】<https://www.jataff.or.jp/news/seminar/index.html#hokuriku1216>

【開催案内チラシ】<https://www.jataff.or.jp/news/seminar/hokuriku1216.pdf>

【プログラム】上記の開催案内または開催案内チラシをご覧ください。

【申込方法】参加費無料。令和4年12月14日（水）までにお申込みください。

申込締切日になりましたら、あるいは、お申込みが定員に達しましたら受付締切となります。申込フォームは、上記開催案内にあります。

☆地方食品産業セミナー

【開催日時】令和5年1月19日（木） 13:30～15:30

【開催場所】ホテルメトロポリタン山形 3階 朝日

〒990-0039 山形県山形市香澄町1丁目1番1号

【開催方法】会場（定員50名）とオンライン（定員200名）

【主催】一般財団法人 食品産業センター

【開催案内】<https://www.shokusan.or.jp/event/5714/>

【講演内容】

- ・「食品に新たな魅力を添えるウラ技」

～今こそ捉え直したい農作物がもつ価値とその伝え方～

品種ナビゲーター 竹下大学 氏

- ・「食品産業をめぐる情勢について」

（一財）食品産業センター 専務理事 田辺義貴 氏

【申込】参加費無料。申込締切日 令和5年1月12日（木）

下記の「申込フォーム」より必要事項を記入してお申込みください。

申込フォーム <https://forms.gle/zisBJWTdB1xUzrWw8>

Google フォームが利用できない方は、事務局（開催案内参照）までお知らせ下さい。

.....

4. 2022～2023 年度の競争的研究資金について

☆令和4年度農林水産技術会議事務局関係補正予算の概要

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/yosan/attach/pdf/mokuji-12.pdf>

このうち、特に、競争的研究資金の確保に係る予算としては、「スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト」、「アグリ・スタートアップ創出強化対策」などがあります。

- ・「スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト(予算額 4,400 百万円)」

https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r4hosei_pr26.pdf

- ・「アグリ・スタートアップ創出強化対策(予算額 500 百万円)」

https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r4hosei_pr29.pdf

☆令和5年度農林水産技術会議事務局関係予算の概要

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/yosan/attach/pdf/mokuji-16.pdf>

このうち、特に、競争的研究資金の確保に係る予算としては、「オープンイノベーション研究・実用化推進事業」、「スタートアップ総合支援」、「安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進事業」などがあります。

- ・オープンイノベーション研究・実用化推進事業

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/yosan/attach/pdf/mokuji-19.pdf>

- ・スタートアップ総合支援

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/yosan/attach/pdf/mokuji-19.pdf>

- ・安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進事業

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/yosan/attach/pdf/mokuji-17.pdf>

☆（公募予告）令和4年度補正予算「スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト」について

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/kobo/r4-6/index.htm

【公募案内】

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/kobo/r4-6/R4hosei_koubo_pre.pdf

本委託事業は、技術ステージにより、以下の2つに分類されます。

1) 戦略的スマート農業技術の開発・改良

海外依存度の高い農業資材や労働力の削減、自給率の低い作物の生産性向上等に必要なスマート農業技術（ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用するもの）の開発・改良・実証を実施する委託事業です。

【主な日程】

応募受付 令和5年1月中旬～1ヶ月程度

書類・面接審査 2月～3月

採択結果の公表 4月中頃

公募関係のお知らせは、農研機構生研支援センターのHPで発表されます。

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/index.html>

2) 戦略的スマート農業技術の実証

海外依存度の高い農業資材や労働力の削減、自給率の低い作物の生産性向上等に資するがデータ不足等により市販化には至っていないスマート農業技術の実証を行います。

【主な日程】

応募受付 令和5年1月上旬～1ヶ月程度

書類・面接審査 2月～3月

採択結果の公表 3月下旬頃

公募関係のお知らせは、農研機構本部のHPで発表されます。

<https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/info/news/index.html>

☆上記以外の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますので、ご覧下さい。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆スマート農業関係

○「通い農業支援システム」製作マニュアルの公開

農研機構は、「通い農業支援システム」の製作方法を説明したマニュアルを公開しました。「通い農業支援システム」は、通信機能付きマイコンと小型パソコンを組み合わせ、ハウスの情報をスマートフォンで確認できる遠隔監視システムです。ハウス内の温度などを定期的に確認できるほか、取得データは平均値やグラフなど生産者が利用しやすいように変換できます。材料費 2 万円から作成できます。本マニュアルにより、安価（材料費 2 万円、通信費千円/月）かつ簡便に「通い農業支援システム」を製作することでハウスの管理を省力化することができます。この研究成果は、農林水産技術会議事務局 2021 年度農業技術十大ニュースとして取り上げられました。

・農研機構 HP:研究成果 「通い農業支援システム」製作マニュアル

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/tarc/141378.html

・農林水産技術会議事務局 HP：2021 年農業技術十大ニュース

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/211223-7.pdf>

(2) その他の技術情報

☆「農林水産研究イノベーション戦略 2022」が策定されました（令和 4 年 5 月）

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/innovate/index.html>

☆「みどりの食料システム戦略」KPI2030 年目標の設定（令和 4 年 6 月）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/index-55.pdf>

.....

編集後記

12 月（師走）に入り、令和 4 年も残り少なくなりました。皆様何かとお忙しいことと存じます。東海生研は「アグリビジネス創出フェア in 東海」を 12 月 1～2 日に開催しましたが、多くの出展機関、来場者、オンラインでのご参加をいただき、1 日目には出展機関からシーズ・ニーズに関わるポスターと実物の展示、説明をしていただきました。新型コロナ下で、3 年ぶりに会場でのブース展示となり、会場での説明、質疑など活発なやりとりの必要性を改めて感じました。2 日目の午前中には共催する東海 4 県農業関係試験研究

機関の連携協定に基づくシンポジウム、午後には東海生研主催の成果発表会をともに会場とオンラインのハイブリッドで開催しました。参加者の皆様に改めて感謝申し上げます。

なお、東海生研のホームページ上で、出展機関からの動画、テキストなどを来年1月10日まで掲載していますので、是非ご覧ください。

皆様、この一年、本メールマガジンをご愛読いただき有り難うございました。来年もよろしくお願い申し上げます。どうか、良い年をお迎え下さい。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料） ご案内 : <https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2023年1月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第217号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携支援事業

☆個別相談について

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会の本年度のイベントである、3回のセミナーと「アグリビジネス創出フェア in 東海」は終了しましたが、個別相談は日常的に実施しています。個別相談では、競争的研究資金の獲得支援（共同研究機関の紹介、提案内容の検討、提案書のブラッシュアップ）、事業化支援などを行っています。当研究会の事務所、あるいは、相談者の事務所を訪問してご相談対応をさせていただいております。

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆名古屋大学オンラインセミナー

「脱炭素社会と木材 ～森林と暮らしをつなぎ、価値の循環を作る～」

【開催日時】令和5年1月11日（水）18:00時よりライブ配信

（当日、視聴できない方も申し込まれると、1月25日までセミナーの録画が視聴できます）

【開催案内】

<https://mebinar.adm.nagoya-u.ac.jp/>

【講師】名古屋大学 教授 山崎真理子 氏
(株)竹中工務店 河崎泰了 氏

【お申込み】下記のURLをご覧ください。

<https://mebinar.adm.nagoya-u.ac.jp/decarbonization202301/>

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンラインに限る）

☆SIP スマートバイオ産業・農業基盤技術成果報告会

「食のサステナビリティ」と「循環型社会」への取組 in メタバース

【開催日時】2023年1月13日（金）10:00～17:00

【開催方法】オンライン展示会

【主催】生物系特定産業技術研究支援センター

【開催案内】<https://sip-smartbio.jp/>

【お申込み】無料。参加申込み、開催内容は、上記の開催案内からご覧ください。

☆地方食品産業セミナー

【開催日時】令和5年1月19日（木）13:30～15:30

【開催場所】 ホテルメトロポリタン山形 3階 朝日
〒990-0039 山形県山形市香澄町1丁目1番1号

【開催方法】 会場（定員 50 名）とオンライン（定員 200 名）

【主催】 一般財団法人 食品産業センター

【開催案内】

<https://www.shokusan.or.jp/event/5714/>

【講演内容】

- ・「食品に新たな魅力を添えるウラ技」

～今こそ捉え直したい農作物がもつ価値とその伝え方～

品種ナビゲーター 竹下大学 氏

- ・「食品産業をめぐる情勢について」

（一財）食品産業センター 専務理事 田辺義貴 氏

【申込】 参加費無料。申込締切日 令和 5 年 1 月 12 日（木）

上記の開催案内の「申込フォーム」に必要事項を記入してお申込み下さい。

☆SIP 第 2 期「露地野菜における精密出荷予測システムの開発・実証」研究成果報告会

【開催日時】 令和 5 年 1 月 23 日（月）13 時 00 分～17 時 00 分

【開催方法】 YouTube によるオンライン配信

【開催案内】

<https://www.naro.go.jp/event/list/2022/12/156071.html>

【主催】 SIP 第 2 期スマートバイオ産業・農業基盤技術「スマートフードチェーン」コンソーシアム・露地野菜精密出荷グループ、農研機構野菜花き研究部門

【内容】 上記の開催案内をご覧ください。

【参集範囲】 野菜の生産、流通、販売等に関わる事業者、大学、公設試験場、民間研究所、内閣府、農林水産省技術会議事務局、農産局、都道府県の行政機関・普及機関等、どなたでも参加できます。

【お申込み】 無料。申し込み期限：令和 5 年 1 月 19 日（木曜日）。参加申込みは、上記の開催案内からできます。

☆令和 4 年度食品試験研究推進会議

【開催日時】 令和 5 年 2 月 9 日（木）13:00～17:00

【開催場所・方法】 つくば国際会議場大会議室及び Zoom による会議のライブ配信

【開催要領】

https://www.naro.go.jp/event/files/R04_shiken_kaisai_yoryo.pdf

【内容】

https://www.naro.go.jp/event/files/R04_shiken_program.pdf

【対象範囲】 農林水産省関係行政部局、他省庁行政部局、農林水産省関係国立研究開発法

人等、農林水産省関係独立行政法人、他省庁関係国立研究開発法人、食品研究を実施する公立試験研究機関、食品研究を実施する企業等、食品研究関連団体

【お申し込み】令和5年1月27日（金）17時までに、上記の開催要領からWeb登録をして下さい。

☆「儲かる業務用米生産を実現する無コーティング種子湛水直播技術の確立」成果報告会

【開催日時】令和5年2月16日（木）13:00～16:00

【開催方法】メイン会場（定員100名）及び3箇所のサテライト会場（各会場の定員30～50名程度）、オンライン会場（定員250名（Teamsによる配信））

【開催案内】

<https://www.naro.go.jp/event/list/2022/11/155478.html>

【主催】農研機構東北農業研究センター

【内容】上記の開催案内をご覧ください。

【参集範囲】農林水産省等の国の機関関係者、生産者、独立行政法人・国立研究開発法人関係者、地方公共団体等の試験研究機関関係者及び行政担当者、コンソーシアム構成員、一般の方。

【申込方法】上記の開催案内からお申込み下さい。

☆農研機構のイベント・セミナーの情報は、下記のURLからご参照下さい。

農研機構HP: <https://www.naro.go.jp/event/index.html>

.....

4. 2022～2023年度の競争的研究資金について

☆農林水産関係の予算概要

1) 令和4年度農林水産関係補正予算

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/yosan/attach/pdf/mokuji-28.pdf>

- (1) スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト(上記URLのスライドNo. 20)
- (2) ペレット堆肥流通・下水汚泥資源等の肥料利用促進技術の開発・実証(上記URLのスライド1 No. 21)
- (3) アグリ・スタートアップ創出強化対策(上記URLのスライドNo. 22)

2) 令和5年度農林水産関係予算の概要(国会で未決定)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/yosan/attach/pdf/mokuji-28.pdf>

- (1) オープンイノベーション研究・実用化推進事業(上記URLのスライドNo. 15)

昨年度までのイノベーション創出強化研究推進事業の公募は行われません。新たにオープンイノベーション研究・実用化推進事業が立ち上げられ、間もなく公募が開始されます。本事業においては、基礎研究ステージと開発研究ステージが設けられ、開発研究ステージの実用化タイプでは民間企業が代表機関となること、現場課題解決タイプでは公設試が代表機関となることが求められています。詳しくは、上記のスライドをご覧ください。

- (2) スタートアップへの総合的支援(上記 URL のスライド No. 16)
- (3) スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証(上記 URL のスライド No. 2)
- (4) 安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュトリーサイエンス研究推進事業

https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/regulatory_science/rs_keikaku.html

☆ (公募予告) 令和 4 年度補正予算「スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト」
について

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/kobo/r4-6/index.htm

【公募案内】

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/kobo/r4-6/R4hosei_koubo_pre.pdf

本委託事業は、技術ステージにより、以下の 2 つに分類されます。

1) 戦略的スマート農業技術の開発・改良

海外依存度の高い農業資材や労働力の削減、自給率の低い作物の生産性向上等に必要なスマート農業技術（ロボット、AI、IoT など先端技術を活用するもの）の開発・改良・実証を実施する委託事業です。

【主な日程】

応募受付 令和 5 年 1 月中旬～1 ヶ月程度

書類・面接審査 2 月～3 月

採択結果の公表 4 月中頃

公募関係のお知らせは、農研機構生研支援センターの HP で発表されます。

2) 戦略的スマート農業技術の実証・実装

海外依存度の高い農業資材や労働力の削減、自給率の低い作物の生産性向上等に資するがデータ不足等により市販化には至っていないスマート農業技術の実証を行います。

【主な日程】

応募受付 令和 5 年 1 月上旬～1 ヶ月程度

書類・面接審査 2 月～3 月

採択結果の公表 3 月下旬頃

☆ (公募予告) 令和 4 年度補正予算「ペレット堆肥流通、下水汚泥資源等の肥料利用促進
技術の開発・実証」について

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/kanren/yosan/pellet-PR-R4hosei.pdf

【公募前説明用資料】

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/kobo/r4-7/R4hosei_koubo_pre_pellet.pdf

- (1) ペレット堆肥の広域流通促進モデル実証（令和 5 年 1 月以降に公募）
- (2) 下水汚泥資源の活用促進モデル実証（令和 5 年 1 月以降に公募）

(3) 酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発（応募受付：令和5年1月上旬）

☆上記以外の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますので、ご覧下さい。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆野菜関係

○ミストで夏ノ暑サにも負けない雨よけハウレンソウの増収技術を開発

岩手県農業研究センターを代表機関とする共同研究グループは、イノベーション創出強化研究推進事業（基礎研究ステージ）により本研究を実施し、下記の研究成果を得ました。背景として、岩手県における夏秋ハウレンソウ栽培は、簡易パイプハウス等での雨よけ栽培が行われており、夏季の高温下で安定生産を図る必要があります。従来から暑さ対策として遮光が行われてきましたが、遮光により1株当たりの重量が減少します。そこで、無遮光でミストを導入するための研究を行いました。東海地域では、岐阜県の飛騨地域や愛知県の中山間地域でハウレンソウの周年栽培が行われており、本研究成果は参考となると考え紹介致します。

研究成果として、(1) 夏秋ハウレンソウ(7月～10月)栽培において、成育中に遮光を行わずにミスト加湿を行ったところ、無処理（遮光無し）に対して1株当たり重量が24%増加し、(2) ミスト加湿区では、個体群成長速度が無処理区と比べて同等以上となり、葉面積指数も高く推移し、ミスト加湿により成長が促進されました。また、(3) ミスト加湿区間でも飽差管理の仕方によって乾物重に差が生じることが明らかになりました。更に、(4) 最大16棟のハウス4系統を1台で制御できる複合制御盤を150万円以下のコストで試作できました。今後、ミスト加湿によるハウレンソウの品質、収穫・調整時における作業性、日持ち性等について現地試験で明らかにしていく必要があります。

・生研支援センターHP：イノベーション創出強化研究推進事業＞研究成果 2022

https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/innovation/2022_results_kiso-10.pdf

(2) その他の技術情報

☆「農林水産研究イノベーション戦略2022」が策定されました（令和4年5月）

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/innovate/index.html>

☆「みどりの食料システム戦略」KPI2030年目標の設定（令和4年6月）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/index-55.pdf>

.....

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナ禍の中でしたが、当研究会の3回のセミナー及び「アグリビジネス創出フェア in 東海」をオンライン開催も含めて盛況裏に開催することができ、また、技術相談等も進めることができました。会員他、諸機関・団体等の皆様の本研究会の活動へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

今年も、産学連携支援により技術開発・事業化の促進を図り、東海地域の農林水産・食品産業の発展と地域活性化に貢献する活動を進めて参ります。地球温暖化、少子高齢化の下での過疎化・労働力不足、食料の安定供給など、農林水産業を取り巻く環境が厳しさを増すなかで、「みどりの食料システム戦略」を一步一步、着実に進めていく必要があります。当研究会として、皆様からの産学連携、事業化等の様々なご相談、ご要望に真摯に対応させていただきますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料） ご案内：

<https://www.biotech-tokai.jp/ezone-reg>

2023年2月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第218号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携支援事業

☆個別相談について

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会の本年度のイベントである、3回のセミナーと「アグリビジネス創出フェア in 東海」は終了しましたが、個別相談は日常的に実施しています。個別相談では、競争的研究資金の獲得支援（共同研究機関の紹介、提案内容の検討、提案書のブラッシュアップ）、事業化支援などを行っています。

（連絡先）

E-mail: bio-npo@s4.dion.ne.jp

電話：052-789-4586

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆プラズマ種子科学研究会

【開催日時】2023年2月23日（木）午後～2月24日（金）午前

【開催場所】名古屋大学東山キャンパス IB 電子情報館東棟2階 大会議室

（名古屋市営地下鉄「名古屋大学」駅 3番出口すぐ）

【開催方法】会場参加のみ、日本語

【開催案内】<https://aichi-science.jp/event/detail.html?id=2920>

【対象者】高校生、一般

【講演】1日目：5講演、2日目：5講演

【お申込み】参加費：無料、お申込みは上記開催案内の「申込ページ」で行って下さい。

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

☆2022年度近畿アグリハイテク 公開セミナー

～私たちは有機農業をどう育てていくのか～

【開催日時】2023年2月24日（金）14時～16時

【開催方法】オンライン開催は、Zoom ウェビナーにて実施。

【開催案内】<http://kinkiagri.or.jp/event/230224seminar.pdf>

【お申込み】オンライン参加の締切日は2月14日（火）。上記の開催案内からお申込み下さい。

☆「食によるヘルスケア産業創出コンソーシアム」食ヘルスケア！シンポジウム

【開催日時】2023年3月8日（火）13時～17時

【開催方法】 オンライン配信（Zoom）

【開催案内】

https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/sip/20230228_SIP_healthcare.pdf

【主催】 SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」食によるヘルスケア産業創出コンソーシアム

【お申込み】 お申込み期限は、2月24日（金）。定員400名。上記の開催案内にある「申し込みフォーム」をご利用下さい。

☆第4回果樹生産システム研究開発プラットフォーム総会・シンポジウム

【開催日時】 2023年3月3日（金）13時30分～15時30分（13時 開場）

【開催方法】 Zoom ミーティング

【開催案内】 <https://www.naro.go.jp/event/list/2023/01/156544.html>

【主催】 果樹生産システム研究開発プラットフォーム

【参集範囲】 果樹生産システム研究開発プラットフォーム会員、農林水産省、国立研究開発法人及び公設の試験研究機関、普及指導機関、大学等

【お申込み】 定員PC300台。お申込み期限 2月10日。上記の開催案内にある「特設サイト」からお申込み下さい。

☆戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

～スマートフードチェーンシンポジウム 2023～ukabis で変わる食の未来～

【開催日時】 2023年3月9日（木）13時30分～17時30分

【開催案内】

https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/sip/sip2/news_list/2022/156394.html

【プログラム】 <https://www.ukabis.com/symposium2023/>

【お申込み】 お申し込み期限は、3月7日（火）18時。上記のプログラムのURLからお申し込み下さい。

☆令和4年度家畜ふん尿処理利用研究会

【開催日時】 2023年3月10日（金）13時30分～16時30分

【開催方法】 WEB 会議方式（Teams）

【開催案内】 <https://www.naro.go.jp/event/list/2023/02/156757.html>

【主催】 農研機構 畜産研究部門

【参集範囲】 農林水産省、独立行政法人、都道府県試験研究機関、普及指導機関、大学、民間団体、民間企業、農研機構本部、等

【お申込み】 お申込み期限は3月6日（月）。下記のURLからお申込み下さい。

<https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/kachiku2022>

☆第 39 回土・水研究会

～コメ中無機ヒ素低減対策技術の進展～

【開催日時】2023 年 3 月 16 日(木) 13 時 15 分～17 時(予定)

【開催案内】<https://www.naro.go.jp/event/list/2023/02/156321.html>

【主催】農研機構 農業環境研究部門

【参加対象】国立研究開発法人、公設試験研究機関、大学、行政部局、民間団体など

【お申込み】参加費無料、上記の開催案内からお申し込み下さい。

☆農研機構のイベント・セミナーの情報は、下記の URL からご参照下さい。

農研機構 HP: <https://www.naro.go.jp/event/index.html>

.....

4. 2022～2023 年度の競争的研究資金について

☆令和 5 年度オープンイノベーション研究・実用化促進事業

新規事業である本事業は、農林水産業・食品産業の発展や当該産業に係る新たなビジネスの創出につながる基礎段階の研究及び実用化段階の研究を対象としています。

本事業では、研究機関等の独創的なアイデアや基礎科学など萌芽段階の研究を基に、将来、農林水産・食品分野での社会実装を目的とした革新的な研究シーズを創出する基礎研究を対象とする「基礎研究ステージ」、農林水産省の研究資金や他の研究資金による基礎研究等で創出された成果(研究シーズ)を基にした、農林水産・食品分野における生産現場の技術的な課題等を解決するための実用化段階の研究開発を対象とする「開発研究ステージ」が設定されるとともに、研究内容等に応じた「研究タイプ」が設定されています。詳しくは下記の公募要領をご参照下さい。

【公募案内】

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/open-innovation/offering/koubo/2023.html>

【公募要領】

https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/open-innovation/koubo_youryo_R5.pdf

【公募期間】2023 年 2 月 3 日(金)～3 月 7 日(火) 12 時(正午)

【公募説明会】オンライン(2 月 13 日(月) 13 時 30 分～15 時)

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/event/156753.html>

☆2023 年度みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進(委託プロジェクト研究)

【公募案内】<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/230112.html>

【応募要領】新規課題分

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/project/pdf/kobo/2023/project2023-1.pdf>

【分野等】

1. みどりの品種開発研究

みどりの品種開発加速化プロジェクト

2. 現場ニーズ対応型研究

- 1) 子実用とうもろこしを導入した高収益・低投入型大規模ブロックローテーション体系の構築プロジェクト
- 2) 園芸作物における有機栽培に対応した病虫害対策技術の構築
- 3) 大径材の活用による国産材製品の安定供給システムの開発
- 4) 魚類血合筋の褐変を防止する革新的冷凍技術の開発

3. 革新的環境研究

- 1) 農業生産に不可欠な生態系サービスの効率的な評価技術の開発
- 2) 日本全国の林地の林業採算性マトリクス評価技術の開発
- 3) 東南アジアの小規模農家のための経済性を備えた温室効果ガス排出削減技術の開発

4. アグリバイオ研究

ブリ等の人工種苗の普及により顕在化する新たな疾病リスクに対応するための効果的な抗菌剤使用法の開発

【公募期間】2023年1月12日（木）～2月28日（火）17時

☆ペレット堆肥の広域流通促進モデル実証

本事業では、地域によって偏在する家畜排せつ物を原料とした堆肥を有効活用するため、ペレット化し広域流通させる取組の実証をモデル的に実施します。公募対象は、(1) 豚ふん・鶏ふんを用いたペレット堆肥の広域流通促進モデル実証、(2) ペレット堆肥の大規模広域流通促進モデル実証です。

【公募案内】

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/156711.html

【公募要領】

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/files/smart-nougyou_koubo202302_pellet-taihi_kouboyouryou.pdf

【公募期間】

2023年2月3日（金）～3月13日（月）正午（午前12時）

☆下水汚泥資源の活用促進モデル実証

本事業では、下水処理施設及び農業集落排水施設から排出される汚泥を原料としたコンポスト肥料等の活用を促進するため、費用対効果の高い肥料の生産方法の開発やその肥効に係る現地実証等が実施されます。公募対象は、(1) 汚泥を原料とした効率的なコンポスト肥料の製造に係る実証、(2) 回収リンを活用した高品質肥料の製造に係る実証、(3) (1) 及び(2)と併せ共通して実施すべき取組です。

【公募案内】

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/156702.html

【公募要領】

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/files/smart-nougyou_koubo202302_gesuiodei_kouboyouryou.pdf

【公募期間】 2023 年 2 月 3 日(金曜日)～3 月 13 日(月曜日) 正午(午前 12 時)

☆令和 4 年度補正予算「食料安全保障強化に向けた革新的新品種開発プロジェクトのうち食料安全保障強化に資する新品種開発」

【公募案内】 <https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/press/156607.html>

【公募期間】 2023 年 1 月 25 日(水)～2 月 22 日(水) 正午

☆(公募予告) 2023 年度スタートアップ総合支援プログラム(SBIR 支援)

【公募予告】

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/startup/news/2022/156605.html>

【公募時期】 令和 5 年 2 月下旬から 3 月上旬の公募開始から 1 ヶ月程度(予定)

☆上記以外の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますので、ご覧下さい。

東海生研ホームページの NEWS(お知らせ)の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1)新技術情報

☆野菜関係

○いいところ取りのナス新品種を開発！～多収性で漬物にも向く単為結果性とげなしナス～

愛知県農業総合試験場では、受粉や着果促進剤処理をしなくても果実が肥大する「単為結果性」及びへたなどにとげのない「とげ無し性」を持つナスの新品種「試交 17-22」を開発し、令和 3 年 11 月に品種登録出願しました。

本品種は、「単為結果性」であるので省力的であり、「とげ無し性」であるので快適に作業ができるので能率が上がり、高齢化の進む産地の維持発展に貢献することが期待されます。また、消費者も調理時にへたのとげが指に刺さるという危険がないので販路が拡大するものと推察されます。本品種は、促成作型ナスであり、果実は光沢の有る黒紫色で長卵形です。従来の主力品種「千両」と比べて、収量は同程度であり、販売単価の高い栽培前半に収量が多い特性があり、果皮が比較的やわらかいことから、ナスの重要な販路で有る漬物加工にも適しています。本品種は、令和 5 年度から本格栽培が開始されます。

・愛知県農業総合試験場 HP:2022 年 愛知県農業総合試験場の 10 大成果

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/442519.pdf>

・愛知県農業総合試験場 HP:研究短報 農業総合試験場 No. 133

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/427954.pdf>

(2)その他の技術情報

☆「農林水産研究イノベーション戦略 2022」が策定されました（令和4年5月）

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/innovate/index.html>

☆「みどりの食料システム戦略」KPI2030年目標の設定（令和4年6月）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/index-55.pdf>

.....

編集後記

まだ寒気の厳しい2月ですが、暦の上では二十四節季の「立春」（2月4日）を過ぎ、太平洋側を低気圧が次々と通過するという春の兆しも感じられる頃となりました。

さて、農林水産・食品産業においては、エネルギー価格高騰、食品等の値上げラッシュなど、家計や企業経営、生産者に大きな影響が及んでいます。そうした中、様々な農林水産・食品産業における課題を取り上げて、1つ1つ地道に解決し、持続的に生産性を向上させていくことが求められています。当研究会は、課題に向き合い、産学連携支援を基軸として取り組んでまいります。

当研究会として、皆様からの産学連携、事業化等の様々なご相談、ご要望に真摯に対応させていただきますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX：052-789-4586

E-mail：bio-npo2*y4.dion.ne.jp（*を@に書き換えてください）

URL：<https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2023年3月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第219号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2022年度「知」の集積による産学連携支援事業

☆個別相談について

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会の本年度のイベントである、3回のセミナーと「アグリビジネス創出フェア in 東海」は終了しましたが、個別相談は日常的に実施しています。個別相談では、競争的研究資金の獲得支援（共同研究機関の紹介、提案内容の検討、提案書のブラッシュアップ）、事業化支援などを行っています。

（連絡先）

E-mail: bio-npo@s4.dion.ne.jp

電話：052-789-4586

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局 「消費者の部屋」における特別展示「地理的表示（GI）について」

【展示期間】令和5年3月6日（月）～3月22日（水）10時～17時

【展示内容】今回の特別展示では、地理的表示（GI）保護制度の説明や今年1月に新たにGI登録された岐阜県の「飛騨牛」をはじめ、三重県の「特産松阪牛」、愛知県の「豊橋なんぶとうがん」など6品目がパネルと動画で分かりやすく紹介されています。

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heya/tokubetsu/20230306.html>

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

☆第39回土・水研究会

～コメ中無機ヒ素低減対策技術の進展～

【開催日時】2023年3月16日（木）13時15分～17時（予定）

【開催案内】<https://www.naro.go.jp/event/list/2023/02/156321.html>

【主催】農研機構 農業環境研究部門

【参加対象】国立研究開発法人、公設試験研究機関、大学、行政部局、民間団体など

【お申込み】参加費無料、上記の開催案内からお申し込み下さい。

☆SIP/PRISM シンポジウム 2022

【開催日時】2023年3月17日（金）13:00～17:30（予定）

【開催方法】オンライン開催 Zoom ミーティング（参加定員：2,000名）

【開催案内】<https://www.sip.go.jp/application/>

【プログラム概要】SIP 第2期・PRISM 成果報告が4つのブレオクアウトルームに分かれて上映され、適宜ルーム移動が可能。「スマートバイオ産業・農業基盤技術」、「バイオ技術領域」関係等の成果発表が行われます。

【主催】内閣府

【参加申込み】上記の開催案内にある「参加申込み」からお申込み下さい。

☆ツマジロクサヨトウ研究成果発表会

ツマジロクサヨトウは、2019年7月に日本で初めて確認された侵入害虫で、その後毎年飛来するようになり、これまでに全国で確認され、主に飼料用トウモロコシなどを加害しています。その生態を解明して効果的な防除法を開発するために、生研支援センターのイノベーション創出強化研究推進事業(JPJ007097)の支援を受け、令和2～4年度に「ツマジロクサヨトウの効率的な発生予察技術と防除対策技術の開発(02027C)」という研究開発プロジェクトが実施されました。その研究成果を紹介するために、研究成果発表会が開催されます。

【開催日時】3月22日(水曜日)10時～17時

【開催方法】オンライン会議 (Zoom)

【開催案内】

<https://www.naro.go.jp/event/list/2023/02/157371.html>

【プログラム】上記の開催案内を御覧ください。

【主催】イノベ事業 02027C コンソーシアム(代表機関：農研機構 植物防疫研究部門)

【案内先】病虫害防除所や自治体の飼料作担当者、営農指導員、生産者、研究機関の研究者等

【参加申込】参加費無料。参加ご希望の方は「お名前、所属、職名、メールアドレス」を2023年3月15日までに faw2023@ml.affrc.go.jp に送信して下さい。後ほど会議へのリンク (URL) がメールで知らされます。

☆北海道十勝発スマートフードチェーンプロジェクト「事業化戦略会議 2023」

農研機構では、北海道における農業産出額の2割を占める十勝地域において、「農業・食品版のSociety5.0」の早期実現を加速化させることにより、農畜産物の生産性及び収益の向上を図り、農業・食品産業の競争力強化及び産業振興を通じて、地方創生に貢献するため「北海道十勝発スマートフードチェーンプロジェクト」を開始しました。今回、本プロジェクトにおける取組み及び研究成果等について紹介するとともに、事業化に向けた戦略等に関して、広く議論することを目的に、本会が開催されます。他地域においてもスマート農業技術について参考となることが多いと思われますので、本欄に掲載しました。

【開催日時】令和5年(2023年)3月24日(金曜日)13時～16時

【開催方法】オンラインはYouTubeによるライブ配信により実施。

【開催案内】 <https://www.naro.go.jp/event/list/2023/02/156703.html>

【プログラム】上記の開催案内をご覧ください。講演数 6 課題

【主催】農研機構

【案内先】民間事業者、生産者、農業団体、行政機関、大学等

【参加申込み】申込期限：オンライン参加 令和 5 年 3 月 23 日（木）17 時

参加申込みは上記開催案内の「参加申込フォーム」により行って下さい。

☆農研機構のイベント・セミナーの情報は、下記の URL からご参照下さい。

農研機構 HP: <https://www.naro.go.jp/event/index.html>

.....

4. 2023 年度の競争的研究資金について

☆2023 年度安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進
委託事業 (農林水産省 消費・安全局)

【公募案内】<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/gijyutu/230208.html>

【公募課題】

1. 課題解決型プロジェクト研究

1) 持続可能な農林水産業推進とフードテック等の振興に対応した未来の食品安全プロジェクト

- ・気候変動を考慮したかび毒汚染実態解明並びに汚染低減に関する研究
- ・コメ中の有害元素低減と水田からのメタン排出抑制を両立する技術の確立
- ・農作物中 PFAS の分析法の確立、農地土壌、水等からの PFAS 移行特性の解明
- ・脂溶性貝毒アザスピロ酸のモニタリング技術の高度化
- ・食用昆虫中の有害物質のデータベース化、管理手法の確立

2) 動物衛生対応プロジェクト

- ・新たな感染症の出現に対してレジリエントな畜産業を実現するための家畜感染症対策技術の開発

2. 短期課題解決型研究

- ・カキのノロウイルス汚染低減に関する研究
- ・農業分野での抗菌剤の使用実態把握及び細菌性病害の総合防除の推進に関する研究
- ・輸入検査における雑草種子に対する検疫措置に関する研究
- ・九州本土を対象としたミカンコミバエ種群の改良型飛来解析システムの開発に関する研究
- ・野生イノシシにおけるアフリカ豚熱防疫措置の具体化に関する緊急実証研究

【公募期間】2023 年 2 月 8 日～3 月 31 日

☆2023 年度スタートアップ総合支援プログラム(SBIR 支援)

【公募案内】<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/startup/koubo/R05.html>

【公募要領】

https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/startup/koubo_youryo_R5SU.pdf

【研究開発テーマ】

- 1) 農林漁業者の高齢化や担い手不足等、生産現場の課題解消
- 2) 農林水産物の加工・流通の合理化・迅速化
- 3) 農林水産業・食品産業の可能性の拡大と成長の推進
- 4) 農林水産業・食品産業の高い生産性と持続可能性の両立の実現

【委託期間】 1年～2年以内(各フェーズによる)

【委託費】 1,000万円～5,000万円/年以内(各フェーズによる)

【事業化支援】 事業化に関する知見・経験が豊富なプログラスマネージャー(PM)が、研究課題に応じて事業化をサポート

【公募期間】 2023年3月1日(水)～3月31日(金) 正午

☆スマート農業技術活用産地支援事業

【公募案内】

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/157540.html

【事業概要】

- 1) 支援チームによる産地への指導
- 2) 産地におけるスマート農業技術活用産地支援手引き書の作成

【事業実施期間】 契約締結の日から、2025年2月28日(金)までを限度とする期間

【公募要領】 https://www.naro.go.jp/project/research_activities/files/smart-nougyou-project-koubo2023-katsuyou-sanchi-kouboyouryou.pdf

【公募期間】 2023年3月7日(火)～4月10日(月) 正午

☆上記以外の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますので、ご覧下さい。

東海生研ホームページのNEWS(お知らせ)のURL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆野菜関係

○イチゴ「美濃娘」において花芽分化を抑制する技術を開発しました

岐阜県育成品種「美濃娘」で、近年の秋季高温により収穫開始が早まることで、果実が小さくなり、また、単価の高い12月下旬の収穫量が少なくなるという問題が生じています。このため、岐阜県農業技術センターでは、育苗期に電照を実施することにより、花芽

分化を抑制し、出蕾を遅らせ、秋季が高温になっても収穫時期を早めない技術を開発しました。すなわち、育苗期に夜間 3 時間の電照を 8 月下旬に 10 日間程度実施することにより、出蕾を安定的に 5 日程度遅らせることができ、収穫開始から 12 月下旬にかけての果実が大きくなることを明らかにしました。この技術は、地球温暖化適応策の 1 つとなりますが、秋季の気温がどうなるかの長期予測の正確性も必要となり、また、他の品種の反応についても調べる必要があります。

・岐阜県農業技術センターHP:令和 3 年度研究成果 (成果集の 5 頁目)

<https://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

(2) その他の技術情報

☆「農林水産研究イノベーション戦略 2022」が策定されました (令和 4 年 5 月)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/innovate/index.html>

2023 年版は現在策定中

「農林水産研究イノベーション戦略 2023」の骨子 (案)

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/innovate/index.html>

☆「みどりの食料システム戦略」KPI2030 年目標の設定 (令和 4 年 6 月)

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/index-55.pdf>

.....

編集後記

令和 4 年度も残り少なくなりました。年度末の実績のまとめ、来年度の計画作りで忙しい時期です。一歩外に出ますと 20℃近い気温で、暦の二十四節気の啓蟄 (けいちつ: 冬眠していた虫が、春の訪れを感じ、穴から出てくる頃とされ、今年は 3 月 6 日) の季節を実感しました。自宅近くの農業用ため池に多数見られたハシビロガモ等の水鳥の姿が見られなくなりました。水鳥も季節の変化を感じて北国に旅立ったようです。

新型コロナの流行が終息に向かっているようで、今後の日常生活への回帰と産業と地域の活性化が期待できるのではないかと、春の日差しの中で思われました。

===== 《メルマガジンに関するお問い合わせは》 =====
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録 (無料) ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>